

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 7 日(2022.9.7)

【公開番号】特開 2022-31941(P2022-31941A)

【公開日】令和 4 年 2 月 22 日(2022.2.22)

【年通号数】公開公報(特許)2022-032

【出願番号】特願 2021-204107(P2021-204107)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/0735(2010.01)

10

C 1 2 N 5/071(2010.01)

C 1 2 Q 1/02(2006.01)

C 1 2 Q 1/68(2018.01)

C 1 2 N 15/12(2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/0735

C 1 2 N 5/071 Z N A

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68

C 1 2 N 15/12

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 29 日(2022.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

外因的に導入可能な因子の組み合わせを含む誘導性多能性幹細胞への B 細胞の再プログラミングにおける使用のための組成物であって、前記因子は、

a) Oct 4 ;

b) Sox 2 ;

c) Klf ; および

d) C / E B P α

を含み、前記因子は、それぞれのポリペプチドまたは前記因子をコードする 1 つもしくは複数のポリヌクレオチドのいずれかである、組成物。

【請求項 2】

前記組成物が B 細胞をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

40

【請求項 3】

前記 B 細胞が未熟 B 細胞である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記未熟 B 細胞がプレ B 細胞またはプロ B 細胞である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記 B 細胞が最終分化 B 細胞である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 6】

外因的に導入可能な因子の前記組み合わせが c - M y c を含まない、請求項 1 から 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

50

前記 K 1 f が K 1 f 4 である、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記因子がそれぞれポリペプチドである、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記因子が、前記因子をコードする 1 つまたは複数のポリヌクレオチドである、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記 1 つまたは複数のポリヌクレオチドがウイルスベクター内にある、請求項 9 に記載の組成物。

10

【請求項 11】

前記ウイルスベクターがレトロウイルスベクターまたはレンチウイルスベクターである、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記組成物が、5 - アザ - シチジン、トリコスタチン A (T S A) およびバルプロ酸からなる群から選択される再プログラミング薬をさらに含む、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

前記組成物が間質細胞をさらに含む、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

前記間質細胞が O P 9 骨髄間質細胞である、請求項 13 に記載の組成物。

20

【請求項 15】

前記組成物が細胞培養培地をさらに含む、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の組成物。

30

40

50